

第1回

御嵩町リニア発生土置き場 に関するフォーラム

を開催します

◆内容◆

- ①フォーラム開催の目的
- ②フォーラム運営のルール
- ③有識者紹介
- ④発生土置き場に係る経緯
- ⑤発生土置き場とは
- ⑥第2回以降のテーマ選定

※ 参加につきましては、町内在住の方に限らせていただきます。

※ 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、入場制限をさせていただく場合があります。

なお、フォーラムの様子は後日、町ホームページにて動画配信を行います。

日時：令和4年5月28日（土）14：00～16：00

会場：中公民館3階大ホール

※ 駐車場に限りがありますので、送迎や乗り
合わせ、自転車、徒歩などでのご来場にご
協力ください。



(名鉄御嵩口駅より徒歩3分)

JR東海が上之郷美佐野地内でリニア建設工事（美佐野工区）の発生土置き場を計画しています。

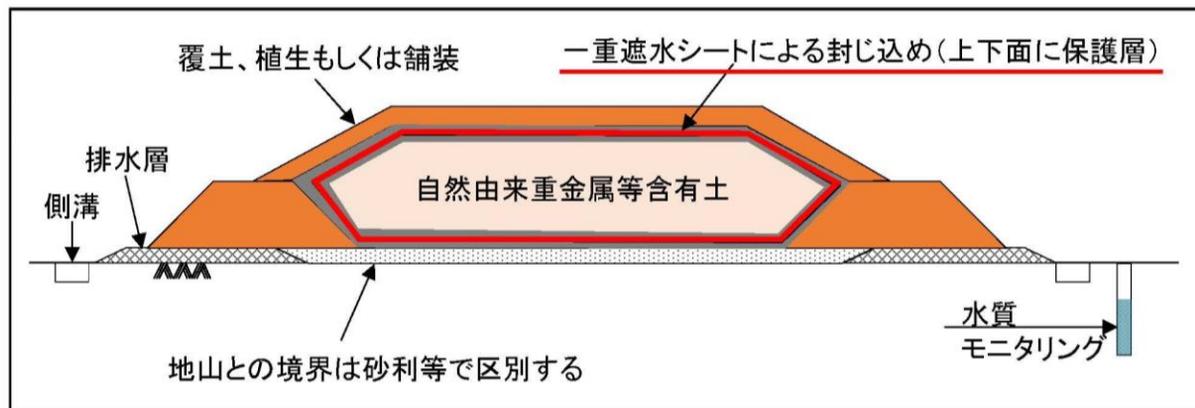
【リニア建設発生土に係るこれまでの主な経緯】

年月	内容
昭和53年	御嵩町がリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会に入会
平成24年12月	JR東海から県を經由し沿線市町に対し「リニア建設発生土の活用（受入）検討候補地」の照会
平成25年1月	県へ建設発生土活用可能用地として情報提供（町有地・1ヶ所目）
平成27年10月	県へ建設発生土活用可能用地として情報提供（民有地・2ヶ所目）
令和元年～3年	JR東海が町長・町議会議員へ町有地に係る発生土置き場の説明（計4回）
令和3年7月	JR東海によるリニア発生土置き場説明会の開催（町内2会場で実施）
令和3年9月	町議会において「要対策土の受け入れを前提としてJR東海と協議に入る。」町長答弁
令和3年11月	町長と上之郷地区住民との意見交換会（上之郷小学校体育館・参加者数69名）
令和3年12月	町議会において「今後、審議会のようなものを作って、専門家の意見をお聞きしながらJRと協議していく。」町長答弁

【発生土置き場計画の全体概要図】



【対策土の管理方法(JR東海からの計画説明内容)】



出典:ハンドブック

- ・当該候補地は谷地形で、周辺から水の流入の可能性があるので、「一重遮水シートによる封じ込め」が適していると考えました。



遮水構造については、安全性を高めるため、2枚の遮水シートと3枚の不織布を交互に重ねる「**二重遮水シートによる封じ込め工法**」を考えています。

出所：令和3年7月JR東海住民説明会資料27頁

【受け入れを前提とした協議に入る理由】

以下、受け入れを前提として協議に入ることに決めた理由を記します。

- 1 自然由来の土であること。
- 1 御嵩町の工区から発生する土であること。
- 1 産業廃棄物処分場問題の際「何故、全国の廃棄物を御嵩町で…？」と疑問を呈した。そういう意味で、論理には整合性を持たせなければならないこと。
- 1 反対の声はあれど、解決策はないこと。私の立場も消極的賛成です。
- 1 当初より、これは町民に判断を委ねる性質の問題ではないと考えていたこと。
- 1 専門家と話ができて、一定の理解と納得ができたこと。専門家とは、リニア中央新幹線事業に直接関わっていない、地盤工学、水環境学、土壌環境学の先生方です。
- 1 御嵩町は昭和53年、原町政の時代から、リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の一員として、歴史を重ねてきたこと。
- 1 本年7月15日、岐阜県期成同盟会に於いて、説明会など「スケジュールありきではなく」との知事の発言がありました。また、決議6項目目で、発生土に関連し“工事の安全対策に万全を尽くすとともに、沿線自治体及び住民に対し、丁寧な説明及び情報提供に努めること”の一文が含まれ決議されたこと。

など多くの理由があります。

(ほっとみたけ令和3年10月号 町長月記より)

フォーラム開催について

本町としては、**発生土の受け入れを前提として協議に入ることとしておりますが、当該計画が将来に亘り安全であることや、対策が十分であるかなどを、事業者であるJR東海と対等に協議、確認を行う必要があります。**

しかし、本町には地盤工学や土壌環境、水環境などの専門知識を持った職員はいません。このため、**中立な立場の有識者（地下水、地盤工学など）を交えて、フォーラムという公開の場でJR東海と協議を行うこととしました。**

町民の皆さまのご不安やご心配の声を基に、第2回目以降の協議テーマを選定していきます。下記に記載のとおり事前質問を募集しますので、**忌憚のないご意見をお寄せください。**なお、フォーラム当日も参加者からのご質問をお受けします。

開催にあたり、会場の感染防止対策を可能な限り行いますので、皆さまにおかれましても、来場前の体調チェック等、感染防止対策へのご協力をお願いいたします。

有識者のご紹介（五十音順・敬称略）

名前	所属・専門
ささお えいじ 笹尾 英嗣	日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター 地層科学研究部長 専門分野：ウラン鉱床
ちかみ さとし 千頭 聡	日本福祉大学 国際福祉開発学部 特任教授 専門分野：環境政策、社会学、地域研究
ひび ゆきひと 日比 幸人	技術士（経営工学部門、総合技術監理部門） 専門分野：リスクコミュニケーション
ひび よしひこ 日比 義彦	名城大学 理工学部 教授 専門分野：地下水学、土壌・地下水汚染
ふじい ゆきやす 藤井 幸泰	名城大学 理工学部 教授 専門分野：地盤工学、応用地質学

事前質問の募集について

第2回以降のテーマ選定の参考とするため、フォーラム開催に先立ち、皆さまのご意見をお聞かせください。

ご意見は、右のQRコードから入力いただくか、役場企画課・各地区公民館・御嶽宿わいわい館・中山道みたけ館に設置の用紙に記入いただきご提出ください。

フォーラムで使用する資料は、1週間前を目処に町ホームページへ掲載を予定しています。



【入力フォーム】



【町ホームページ】